

授業科目等の概要

ファッション専門課程 ファッションクリエイティブ学科 ファッションデザインコース 2022年度(R4)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
○			服装造形論	基本的な衣服の構造と縫製法を学修し、人体を含む衣服の構成を通年で学ぶ。 一般知識、概説、用具説明、縫製の基礎、パターン記号、サイズの知識をスカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品を通じ理論的に学ぶ。	1・通年	120	4	○	△		○		○		
○			服装造形 デザイン	アイテム別の成り立ち、スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケットの基本のデザインから、応用デザインまでの構造を学ぶ。 アイテム別のディティールの名称を学ぶ。	1・通年	60	2	△		○	○		○		
○			服装造形ソーイング	衣服の構造と縫製法を、スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品の製作を通じて、ミシンの取り扱い、地直し、印つけ、仮縫い合わせ・補正、裁断、縫製を学修する。	1・通年	360	12		△	○	○		○		○
○			服装造形平面構成	人体を計測観察し、立体の基礎知識と製図の基本を学修する。文化式原型、スカート、シャツ・ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品の製作を通じ、平面構成による製図方法を学ぶ。	1・通年	90	3			○	○		○		
○			服装造形立体構成	工業用ボディを使用し、立体裁断(ドレーピング)の基礎(一般知識・ボディの準備・裁断・タイトスカート・原型・フレアスカートのドレーピング)実演を学ぶ。	1・通年	30	1	○		△	○		○		
○			生産企画	素材選びから、デザイン決め、着用シーンを考えた企画方法を学修する。	1・通年	20		○			○		○		○
○			生産管理	生産工場に倣い作品(製品)を提出日(納品日)までに計画的に生産する流れの中で、品質、原価、納期に関する知識を学修する。	1・通年	20	2	○		△	○		○		○
○			アパレル品質論・素材論	布地のもつ性質を理解し、製品前、製品後の取り扱いを学修する。	1・通年	20		○			○		○		○
○			パターンメイキング	布の持つ性質を理解し、生産工場に倣い、作品(製品)を提出日(納品日)までに計画的に生産する流れの中で、品質・原価・納期に関する認識を修得する。スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品のデザイン画に合わせたシルエットの出し方、テクニックを平面作図、立体裁断を用いて学修する。	1・通年	60	2	△		○	○		○		
○			工業パターンメイキング	スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品のスカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品のシルエットパターンを工業用パターン化し、素材・縫製にあわせた縫い代の形状、パターン記号を学修する。	1・通年	30	1	△		○	○		○		
○			ファッションデザイン画	・人体のプロポーシオン、衣服着装の表現基礎テクニックを中心として学修する。	1・通年	60			△		○	○		○	
○			クロッキー	対象物を素早く描くことで、そのものの動きや変化を大きく捉え、表現力を学修する。	1・前期	12			△		○	○			○
○			ファッションデザインCG	フォトショップ、イラストレーターを駆使し、デザイン作成方法を学修する。	1・通年	12			△		○	○			○
○			テキスタイルデザイン	素材の知識や構造等、柄の種類等、テキスタイル知識を学修する。	1・前期	6			△		○	○		○	

15	○		ファッション色彩学	色についての基礎的な知識、色彩によるデザインの変化や視覚的效果などを学修する。	1・前期	15		○		△	○			○	
16	○		服装史	古代から現代にいたる西洋を中心とした服装の推移、発展を映像を使って紹介し、今後のファッションデザインにその知識を生かせるように学修する。	1・通年	9	1	○	△		○		○		
17	○		ファッション情報	市場調査や、雑誌、TV、インターネット等から情報収集しファッションデザインに反映させる考え方を学修する。	1・通年	6		○	△		○		○		
18	○		服飾手芸	刺繍、パッチワーク等の、デザインと素材に合わせた技法の基礎を学修する。	1・前期	15					○	○		○	
19	○		テキスタイル	テキスタイルの機械を使用して実物製作を通じ織りの構造を学修する。	1・前期	24	2				○	○			○
20	○		染色	生地の染色技法の基礎を、絞り染めの実習を通して学修する。	1・後期	6					○	○			○
21	○		アクセサリー	作品に合わせたアクセサリーを製作し、基礎知識を学修する。	1・後期	15					○	○		○	
22	○		ファッションビジネス論	ファッションビジネス業界の基礎知識と現状を学修する。	1・通年	12		○				○		○	
23	○		ショッピングリサーチ	商品開発や広告の為の市場調査、分析の方法を学修する。	1・通年	15	1	○		△	○	△	○		
24	○		コンピュータワーク	PCの基本操作を学修し、文章入力、表計算の方法等を学修する。	1・後期	3					○		○		○
25	○		コーディネート論	アイテムや色彩を考えた、コーディネートの基礎知識を学習する。	1・通年	21		○				○		○	
26	○		コーディネート演習	アイテムや色彩を考えた、コーディネートの基礎知識を学修する。	1・通年	21	2				○		○		○
27	○		メイク	基礎化粧法を学び、肌にあった手入れ方法、メイクアップ技術、顔の特徴に合わせたメイク方法を習得する。フレグランスとネイルの基礎知識を学修する。	1・通年	18					○		○		○
28	○		就職ガイダンス	就職活動の進め方、インターネットや職業紹介所の利用方法を知る。グループ面接、グループディスカッションの対応方法を修得する。	1・後期	13	1	○				○		○	
29	○		企業研修	企業訪問を行い、将来の職業に対する向上心を高め、専門知識を学修する意義を深める。企業で即戦力となる、専門知識や技術および態度を修得する。	1・後期	17					○		○	○	○
30	○		茶道	伝統的な日本文化に触れることで「文化」の持つ重要さを感じる。お茶の作法から礼儀までを習得する。	1・前期	9					○	△	○		○
31	○		ビジネスマナー	挨拶の仕方や姿勢、名刺交換の方法など、社会人として必要なマナーを学ぶ。	1・通年	15	1	○				○			○

32	○		美術鑑賞	美術館・博物館・ギャラリーなどで芸術作品を鑑賞し、美の本質を知り教養を高め、創造力や感性を養う。	1・前期	6		○												
33	○		校外研修	工場、作品展示会、ファッションショーなどを見学・参加し、知識と感性、及び情報を修得する。	1・通年	15	1	○						○	○				○	
34	○		特別講義	企業の方やデザイナーなど、様々な専門家を招き、講義を受けることによりファッション業界の現状を学ぶ。	1・通年	15		○						○					○	○
35	○		学校行事	新入生歓迎会・募金活動・スクールピクニック・針供養などの行事を通し、コミュニケーション能力、社会貢献活動の意義、日本の伝統文化を学修する。	1・通年	30	1	○						○	○	○				
36	○		服装造形論	服装造形論1にて修得した基本的な衣服の構造と縫製法を理解した上で、アイテム別のデザインを応用し、また人体の計測観察をもとに立体的な応用知識と技術を修得する。スーツ・コート・フォーマルウェア(ショー作品)、子供服の歴史、デザイン、機能、素材に対するアパレル産業の商品企画から販売生産までの流れについて認識する。	2・通年	120	4	○												○
37	○		服装造形 デザイン	衣服と素材のデザイン、アイテム別の成り立ち、スーツ、コート、フォーマルウェア(ショー作品)、子供服の基本のデザインから応用デザインまでの構造を学ぶ。アイテム別ディティールの応用力を身につける。アパレル産業での商品企画を学び、販売商品のデザインを発想する力を修得する。	2・通年	60	2		△	○	○									○
38	○		服装造形 ソーイング	衣服の構造と縫製法を、スーツ、コート、フォーマルウェア(ショー作品)、応用作品の製作を通じて、ミンの取り扱い、地直し、印つけ、仮縫い合わせ、補正、裁断、縫製を学修する。アパレル商品が縫製工場でのように縫製生産されているのかを学修し、製造業務としてのライン縫製、商品管理を学修する。	2・通年	270	9		△	○	○									○
39	○		服装造形 平面構成	衣服と素材のデザインを応用し、スーツ、コート、フォーマルウェア(ショー作品)、応用作品の製作を通じ平面構成の技術を学ぶ。各デザインに合わせた作図技術を学ぶ。	2・通年	90	3		△		○	○								○
40	○		服装造形 立体構成	工業用ボディを使用し、立体裁断の基礎から応用まで学修する。スカート応用、胸ぐせダーツ移動によるデザイン展開(ギャザー・タック)、ブラウス、衿のドレーピング技術を実習を通して学ぶ。	2・通年	60	2			△	○	○								○
41	○		生産企画	縫製工場での生産ラインの組立てを理解し、生産計画の方法を修得する。	2・通年	29		○												○
42	○		生産管理	生産ラインで使用する縫製仕様書、加工指示書、裁断指示書等の書類について学習し、製造・生産の管理方法を修得する。	2・通年	16	2	○												○
43	○		アパレル品質論・素材論	デザイン、素材に適した品質や取扱い方法を学修する。	2・通年	15		○												○
44	○		パターンメイキング	平面構成・立体構成によるパターンメイキングの理論を理解し、応用ジャケット、コート、フォーマルウェア(ショー作品)のパターン能力を養う。課題作品などの細目から素材の特性を考え、生産効率を考慮したパターンメイキングを学ぶ。	2・通年	120	4	○												○
45	○		工業パターンメイキング	平面構成・立体構成(工業用ボディ使用)によるパターンメイキング理論を体系的に学ぶ。量産を意識したアイテム・素材論の工業用パターンメイキングおよび縫製仕様、縫製法を学ぶ。	2・通年	40			△	○										○
46	○		グレーディング	基本アイテムのグレーディング操作演習によりグレーディング理論の理解とパターン修正技術を学ぶ。	2・前期	10	2			△	○	○								○
47	○		CADパターンメイキング		2・前期	7				○	△	○								○
48	○		CADグレーディング	PCにてアパレルCADソフトを使用し、デジタルでのパターンメイキング、グレーディング基礎操作を学修する。	2・前期	3				○	△	○								○

49	○		ファッションデザイン画	ファッションデザイン画に求められる実力の修得として、技術、知識、感性の3つの要素をカリキュラムにの課題として構成し、学生が独自の発想を具体的に表現できる実力を身につける。現在のアパレル業界で流通している基本的なファッションアイテムを中心に衣服を明確に描く技術を修得する。画材の使用や方法を修得しファッションデザイン画の表現力を養う。	2・ 通 年	45	2		△	○	○	○			
50	○		ファッションデザインCG	オフィス系及びグラフィック系のソフトの基本を学びながら、目的・用途に応じたテクニックの操作を修得し表現方法を広がりをもつデザイン力を身につける。	2・ 通 年	15			△	○	○				○
51	○		ファッション色彩学	パーソナルカラーの基本知識を得て、色のイメージを豊かにする方法を学ぶ。	2・ 前 期	15	2		○	△	○				○
52	○		モード史	1920～1980年代までの服飾史を知り、現代のファッションとの関わりを考察する。	2・ 通 年	12			○			○	○		
53	○		ファッション情報	アパレル産業の現状・コレクション情報、最新のトレンド情報の知識を学ぶ。	2・ 通 年	3		○			○	○			
54	○		テキスタイルデザイン概論	繊維、糸、色の組織の組み合わせを理解し、テキスタイルデザインに表現する。	2・ 通 年	18		○			○	○			
55	○		ファッション概論	デザインのための自由な発想と効果的な作業の方法を身につける。	2・ 前 期	12		○			○				○
56	○		服飾手芸	服飾手芸の基礎知識を学び、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につける。	2・ 通 年	5	2		△	○	○			○	
57	○		ニット	ニットの基礎知識を学び知識と技術を学ぶ。	2・ 前 期	12			△	○	○				○
58	○		帽 子	帽子の基本的な帽子から応用作品までの知識と技術を深める。	2・ 後 期	5	1		△	○	○			○	
59	○		染 色	染色に関する基礎的な知識と技法を修得する。テキスタイルについての理解を深める。	2・ 前 期	9			△	○	○			○	○
60	○		アクセサリ	アクセサリの基礎知識を学び、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につける。	2・ 後 期	5			△	○	○			○	
61	○		ファッションビジネス論	アパレル産業のさまざまな職業・職種を理解し、衣服が店頭で並ぶまでの流通を学ぶ。アパレル産業において、産業構造(繊維・アパレル・小売)と現状を理解し、マーケティング、ブランドターゲット、ブランドコンセプトの組立てについて学ぶ。	2・ 前 期	15	1		○			○	○		
62	○		ショッピングリサーチ	ショッピングや街頭などの調査を通してリサーチ力を身につける。調べる、見る、聞きリサーチの基本を修得する。ファッション産業の構造を理解し業界別にリサーチを行い、それぞれの特徴を学修する。	2・ 通 年	10			△	○			○	○	
63	○		販売実務		2・ 後 期	5			△	○			○	○	○
64	○		コーディネート論	時代への適用力を持ち合わせ、客観的に捉えたファッションコーディネートの提案能力を養う。	2・ 通 年	6	1		○	△	○			○	
65	○		コーディネート演習	アクセサリと色彩、素材を考えながら、トータルコーディネートの組合せを学ぶ。	2・ 通 年	24				○	△	○			○

66	○	就職ガイダンス	就職にむけて、自己分析・履歴書・エントリーシートへの書き方、面接練習等、実践的に修得する。学校内外の会社説明会に積極的に参加する。	2・通年	30	2	○		○	○	○		
67	○	企業研修	企業訪問や協力企業にて企業研修(インターンシップ)を行い、将来の職業に対する向上心を持つ。企業で即戦力となる、専門知識や技術および態度を修得する。	2・通年	30	2			○	○	○	○	○
68	○	ビジネスマナー	挨拶の仕方や姿勢、名刺交換など社会人としてのマナーを学ぶ。テクニカルスキル、ヒューマンスキル、コンセプトualスキルを学ぶ。	2・前期	15	1	○	△	○			○	
69	○	美術鑑賞	美術館・博物館・ギャラリーなどで芸術作品を鑑賞し、美の本質を知り教養を高め、創造力や感性を養う。	2・前期	15	1	○	△		○	○		
70	○	校外研修	工場、作品展示会、ファッションショーなどを見学・参加し、知識と感性、及び情報を修得する。	2・通年	15	1	○				○	○	○
71	○	特別講義	企業の方やデザイナーなど、様々な専門家を招き、講義を受けることによりファッション業界の現状を学ぶ。	2・通年	15	1	○			○			○
72	○	学校行事	新入生歓迎会・募金活動・スクールピクニック・針供養などの行事を通し、コミュニケーション能力、社会貢献活動の意義、日本の伝統文化を学修する。	2・通年	30	1	○			○	○	○	
1学年合計					35 科目		1200 単位 (単位時間)						
2学年合計					37 科目		1200 単位 (単位時間)						
総合計					72 科目		2400 単位 (単位時間)						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	単位の取得、出欠席状況、課題提出、試験などにより評価をうけ修了すること	1 学年の学期区分	2 期
履修方法：		1 学期の授業期間	21 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。